



医療法人 玉昌会

グループ統合報告書 2021

いつまでも健やかに・・・
——私たちの願いです。



玉昌会グループ

医療法人玉昌会 / 社会福祉法人 幸友会 / 株式会社 JOY

目次

基本理念・ビジョン	02
理事長あいさつ	03
沿革	04
グループのいま	05
キラメキテラス ヘルスケアホスピタル	06
鹿児島地区 在宅サービス事業部	14
加治木温泉病院	16
始良地区 在宅サービス事業部	20
社会福祉法人 幸友会 かずみ保育園	22
株式会社JOY WellBe Club	24
2021年度トピックス	26
健康経営	27
SGDsへの取り組み	30
ワークライフバランス	32
ビジョナリー・ホスピタル成長戦略・始良JOYタウン計画	33
電子カルテシステムのリプレイス	34
事業継続計画	35
資料編	36

基本理念

いつまでも健やかに・・・
——私たちの願いです。

わたしたち玉昌会グループは、全てのステークホルダーと共に、全ての人々の健やかな日々を支えます。

医療・介護サービス行動指針

低

すべてに謙虚な
気持ちで接する

賞

お互いを思いやり、
敬意を払う

感

すべてに感謝する

微

微笑みを添えて、
態度で示す

ビジョン

玉昌会グループは、健康・医療・福祉・生活の総合ビジョンを掲げ、鹿児島市・始良市に密着した、きめ細やかな医療環境づくりを目指しています。

医療をとりまく環境や制度の変化、さらにますます進む社会の高齢化に向けて、より時代に即した医療環境の整備が求められています。

こうした時代のニーズに応えるべく総合的な視点で、未来へ向けた新しい医療環境を構築していきます。

上位概念は
ウェルネス



5つの事業

ごあいさつ

2021年度も皆様方には法人グループ運営等に関し、大変お世話になり誠にありがとうございます。

2021年度は新型コロナウイルス(COVID-19)感染波及への危惧で、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催された記憶に残る年度でした。

新型コロナウイルス対策もワクチン接種が進み、一旦は収束されつつありましたが、新型コロナウイルスの変異株の一つであるオミクロン株の出現で、鹿児島県でも感染者が過去最高を更新する事態となり、多様な施設を運営する当グループは、患者や利用者対応ばかりか職員・家族への対応も考慮しつつ、これまで以上に感染への配慮が求められる1年となりました。当グループは、各地区でコロナ対応医療を提供していますが、この様ないかなる災害の状況下でも、常に未来が必要とする心身共に健全でウエルネスな地域共生社会を支える地域包括ケアシステムネットワークの基盤となる、「ヒューマンライフライン」の構築に協力し、全世代のヘルスケアに対応した医療・介護・福祉サービスを含めた多様な生活支援サービスを提供することを目標としています。

当法人は、2022年3月に経済産業省と日本健康会議が主催する、職員の健康維持を目的とした「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」認定制度で、2019年より4連続の認定を頂きました。今後も、健康経営をグループ経営の中核に置き、職員と家族の健康こそが家族の財産であり社会の財産と思い、職員の健康管理は持続可能な安定的な法人運営上の適切な投資活動と捉え、職員の心身の健康管理に適切な補助を行い、今後も職員の健康維持をサポートしていきます。

鹿児島地区の活動は、2021年2月に開院しましたキラメキテラスヘルスケアホスピタルは「再入院を極力させない為の入院治療」を基本方針に掲げ、新しい医療概念の「治し生活を支える医療」に基づき、適切な入院期間(50日～100日程度)を有意義に快適に過ごす事を目標に、チーム医療・介護の総合的医療・介護サービス機能向上に取り組んでいます。特徴は、キラメキテラスヘルスケアホスピタルと隣接する急性期医療担当の「昭和会 いまきいれ総合病院」と医療サービス連携を密に行い、高額医療機器の共同利用や、健診、人間ドックでの機能連携、合同研修会の開催、合同防災訓練の実施等で医療連携の強化を向上させています。始良地区では、創業60周年記念事業の加治木温泉病院の新築移転計画における地域完結型医療システムの構築に向けて医療機能毎の病院・施設分割案の「JOYタウン構想」の準備も進めております。

当グループは、両地区で地域包括ケアシステムネットワークをベースとする、地域共生社会に必要なプラットフォーム「ヒューマンライフライン」を構築し、全世代に対応した医療・介護・福祉を含めた生活支援サービスを提供していく集団を目指し、活動として連携先の昭和会と理事長ミーティング、理事長・院長ミーティングを定期的に行い、両法人が運営する各病院の急性期機能から回復期機能・在宅サービスを含む慢性期機能まで、切れ目なく安定的に一貫通貫で提供する「鹿児島市の水平分業の地域完結型医療システム」を目指しています。

グループは、今後も法人理念の「いつまでも健やかに…私たちの願いです。」のもと、行動指針の「低・賞・感・微」を念頭に置き、両地区における計画を予定通りに実行するスケジュールで、2025年に向けて行動します。

今後も益々大きく激変する社会変化に対応し、常に地域の皆様が必要とされる生活支援サービスに当たる医療・介護・福祉サービスの充実と向上に努め、日々努力を重ね、多くの関係者と共に、笑顔の絶えない明るい社会を作りたいと考えております。

何卒、皆様方には今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



沿革

1957年（昭和32）わずか19床の病院から、
玉昌会のあゆみは始まりました。

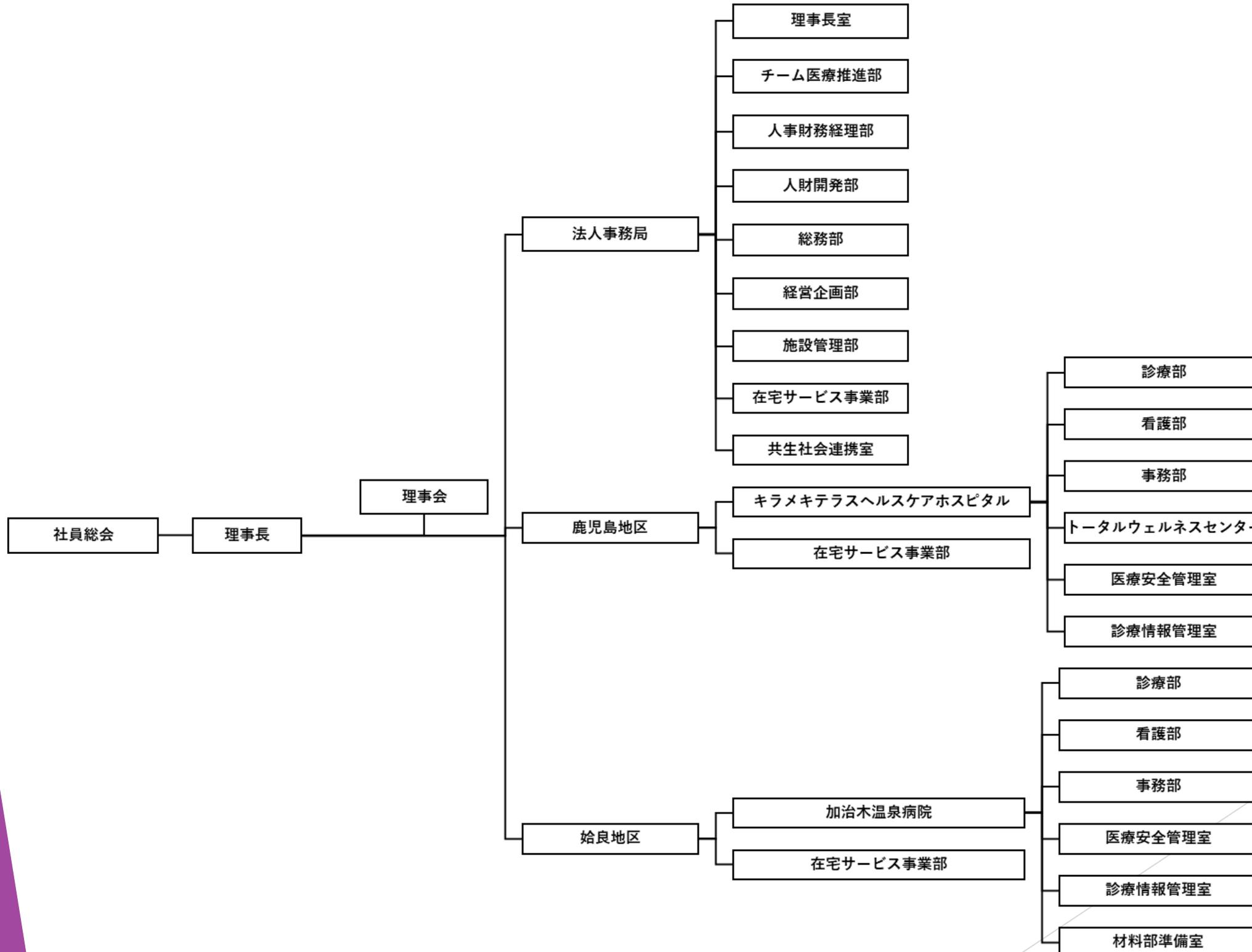


- 1957 高田昌英が堀江町に高田医院を開業 19床
- 1962 医療法人玉昌会を設立、高田内科病院に名称変更
- 1976 高田内科病院にて人工透析治療を開始
- 1978 加治木温泉病院を開設 100床
社会福祉法人幸友会を設立
- 1985 高田内科病院を高田病院に名称変更、167床に増床
加治木温泉病院 人工腎臓センターを開設し人工透析を開始
- 1986 高田病院 179床に増床
- 1988 株式会社JOYを設立
- 1989 加治木温泉病院 CT・MRI導入
- 1994 加治木温泉病院 人工腎臓センターを別棟増設
- 1997 加治木温泉病院 350床に増床、浴室・管理棟を増築
- 1998 ヘルパーステーション甲東 開設
- 1999 加治木温泉病院 日本透析医学会認定施設認定
加治木温泉病院 総合リハビリテーション施設認定
居宅介護支援事業所 めく杜・甲東 開設
- 2002 高田病院 日本医療機能評価機構より初の認定取得
加治木温泉病院 県指定の地域リハビリテーション広域支援センター設置
- 2003 加治木温泉病院 日本医療機能評価機構より初の認定取得
- 2004 萩原隆二が高田病院院長に就任
- 2005 高田昌実が玉昌会理事長に就任
- 2008 高田病院 日本医療機能評価機構 Ver.5認定取得
訪問看護ステーション まむ 開設
- 2009 高田病院 病床を回復期30床と療養病棟149床に再編
しあわせの杜ケアレジデンス 木もれ日 開設
- 2010 加治木温泉病院 16列マルチスライスCT、画像診断システム導入
幸友会いずみ保育園 1円献金寄付運動に感謝状
しあわせの杜ケアレジデンス おはな・お福 開設

- 2011 しあわせの杜ケアレジデンス ほりえ・風の街・星の街 開設
しあわせの杜ケアレジデンス おはな別館 開設
- 2012 高田病院 日本慢性期医療協会 慢性期医療認定病院認定【県内2番目】
加治木温泉病院 日本医療機能評価機構Ver.6認定
訪問看護ステーション まむ鹿児島 開設
- 2013 エコアクション21認定
日本慢性期医療協会 慢性期医療認定病院認定【県内3番目】
- 2014 電子カルテ導入
外科・消化器外科開設 在宅療養支援病院基準承認
- 2015 アメリカ連邦航空局（FAA）指定航空身体検査機関認定【九州初】
- 2016 肝臓内科追加 開放型病院基準承認
通所介護事業所しあわせ通りらぶ・いこいの里花いちもんめ開設
- 2017 日本医療機能評価機構3rdG : Ver.1.1認定
WellBe Club 営業開始
- 2018 日本医療機能評価機構3rdG : Ver.2.0認定
日本政策投資銀行BCM格付取得【環境・健康・BCMの3取得は全国初】
創業60周年記念事業として2病院の新築移転計画を発表
鯉坂クリニック（現：トータルウェルネスセンター）が玉昌会傘下へ
皮膚科外来・整形外科開設、神経内科を脳神経内科へ変更
介護療養型医療施設57床を介護医療院へ転換
- 2019 健康経営優良法人ホワイト500認定
日本医療機能評価機構 付加機能（リハビリテーション）認定
介護医療院80床へ増床
- 2020 三笠宮瑤子女王殿下ご来臨、対話支援システムcomuoon(コミュニケーション)をご視察
夏越祥二が加治木温泉病院院長に就任
しあわせの杜ケアレジデンス とまり木 開設
- 2021 高田病院をキラメキテラスヘルスケアホスピタルに名称変更、198床に増床
堀江町から高麗町に移転開院
巡回型健康診断医療機関トータルウェルネスセンター 新設
新電子カルテ導入
看護小規模多機能型居宅介護 麗・お福 開設

全体組織図 (2022年3月現在)

玉昌会グループは、病院や生活支援サービスを利用する患者さま、ご家族のための主業務機能をもつ2つの地区と、その機能を支える法人事務局の3部門から成り立っています。



キラメキテラス ヘルスケアホスピタル



100日間を通して、
やさしく包まれる病院



「医療人としての感性」に満ちた病院を目指して

当院は、1957年鹿児島市堀江町に創設の高田医院を基礎とし、2021年2月1日に「医療人としての感性」に満ちた病院を目指して、「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」として、高麗町へ新築移転した初年度でした。

まずは、2021年度も地域の医療機関や介護・福祉分野の方々、更には地域の皆様方から、キラメキテラスヘルスケアホスピタルならびに鹿児島地区の在宅サービス事業部の各事業所の運営に対しまして、一方ならぬ温かいご支援を賜りまして、この場をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

新築移転後も、「地域包括ケアシステム」の一翼を担う病院として、10月1日より179床から198床へ増床し、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、医療療養病床を充実させ、新病院のコンセプト「100日間を通して、やさしく包まれる病院」を創成するため、各部署・各職種間でパートナーシップを発揮し、更なるチーム医療の推進・ボーダーレスな業務の実践と業務改善を図り、病院機能評価認定病院としての機能の継続・充実を図り、更なる「医療の質の向上」を目指し、より安全・安心で確実な医療を提供する事により、地域社会に貢献する事をモットーに活動してまいりました。

また当院は、「働き方改革」に則り、「健康経営」をモットーに職員の健康を守り、多様なワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を目指しております。職員の「子育て」や「スキルアップ」を支援し、働きやすい職場環境、職員の満足度が高く、やりがいのある職場環境、人を育む職場環境作りに努め、将来性のある医療人の更なる育成も推進しております。

これからも当院は「目配り・気配りの心、気付きの心」＝「医療人としての感性」を大切にし、患者さま・ご家族に選んで頂ける病院づくりを目指して参りますので、今後とも新しく生まれ変わった「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」に温かいご支援を賜りますよう、宜しく御願い申し上げます。

キラメキテラスヘルスケアホスピタル名誉院長
萩原 隆二



2022年度に向けて～当院の強みを活かして～

2022年4月1日より、キラメキテラスヘルスケアホスピタル院長に就任した上村章と申します。

当院は、2021年2月1日に開院し2年目に入りました。回復期リハビリテーション病棟48床、地域包括ケア病棟37床、地域一般病棟17床、医療療養病棟96床の計198床を備え、リハビリテーションや人工透析等を中心とした入院医療に、一般内科外来、消化器内科や循環器内科等の専門外来を加えた外来医療を提供しております。また、2021年6月に新設したトータルウェルネスセンターでは、各種健診・人間ドック・産業医活動等に対応しており、未病予防領域にも力を入れております。

キラメキテラスでは、高度急性期・急性期医療を担ういまきいれ総合病院が隣接し稼働しており、日頃から連携し診療にあたっております。健診等の未病予防領域から、救急治療等の高度急性期・急性期医療、リハビリテーションや療養といった回復期・慢性期医療まで一気通貫に提供できる体制を構築しております。なお、2023年春にはホテルやマンション、サービス棟等が開業し、キラメキテラス全体のグランドオープンを迎えます。引続き、南国殖産株式会社、公益社団法人昭和会、当法人のコンソーシアム3法人連携を進めて参ります。

当法人は『いつまでも健やかに…私たちの願いです。』の基本理念と、行動指針『低償感微』のもとに、『医療人としての感性』を大切にし、働きやすい職場、やりがいのある職場、人を育む職場環境作りに努め、『良き社会人』として将来性のある医療人の更なる育成にも力を入れております。

2022年度も依然コロナ禍ではありますが、スタッフのモチベーションを保ちながら、今後も、地域に必要とされ、地域の方から選んでいただける病院を目指し、職員一丸となりより一層精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

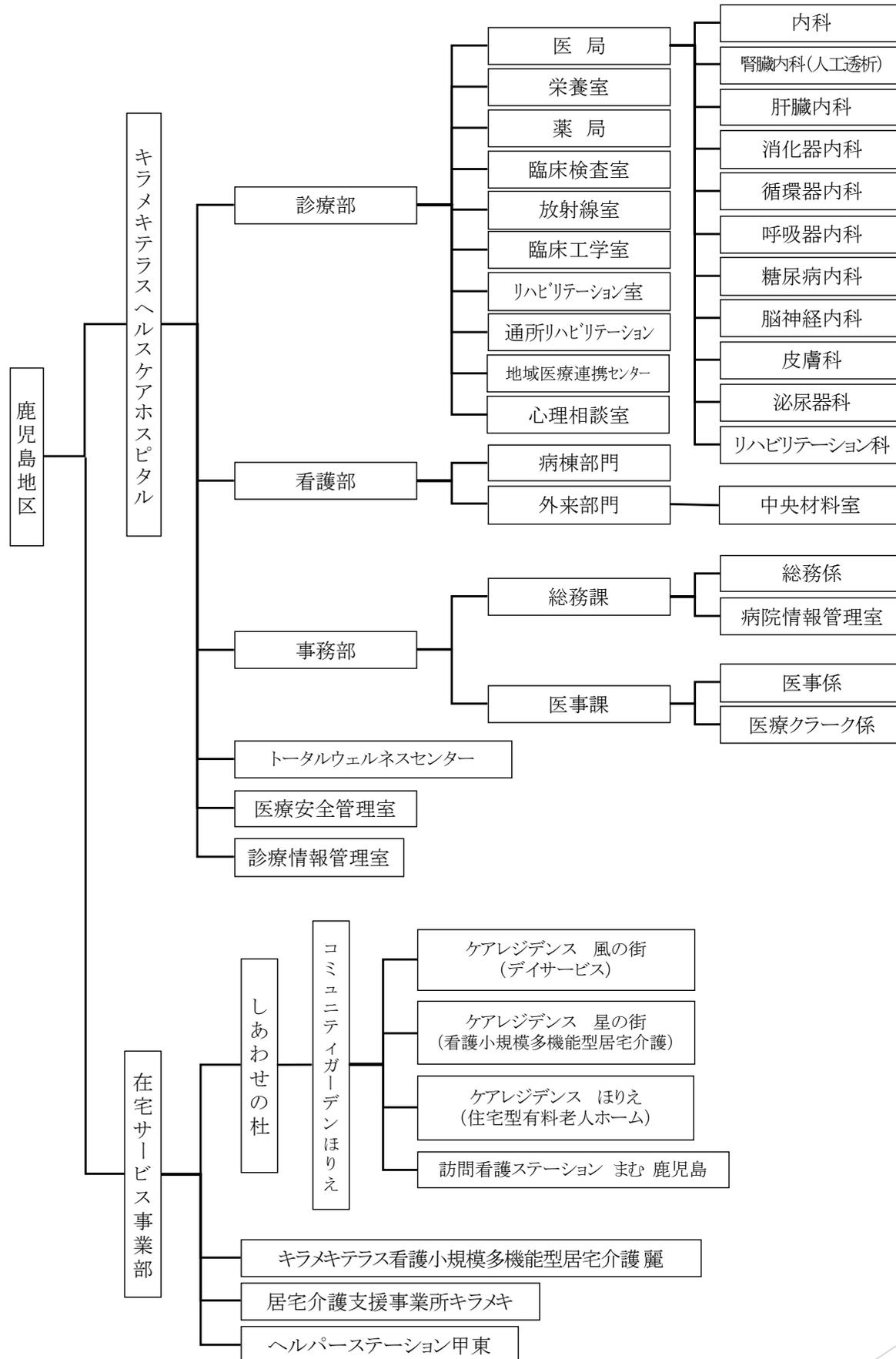
キラメキテラスヘルスケアホスピタル院長
鹿児島地区担当理事

上村 章



鹿児島地区組織図(2022年3月現在)

地区担当理事の下、2021年2月に新築移転したキラメキテラスヘルスケアホスピタルの病院各部、および在宅サービス事業部が有機的に連携し医療サービスを提供できるよう組織されております。



病院概要



院長 : 上村 章
開設日 : 令和3年2月1日
(旧高田病院 : 昭和32年1月15日)
病床数 : 198床

指定医療機関

- ・ (財)日本医療機能評価機構認定
- ・ 人間ドック・健康診断
(特定健診・特定保健指導)
- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- ・ 肝疾患治療かかりつけ医療機関
- ・ 慢性期医療認定病院
- ・ 在宅療養支援病院
- ・ 診療・検査医療機関
- ・ 持続性推進機構「エコアクション21」認定



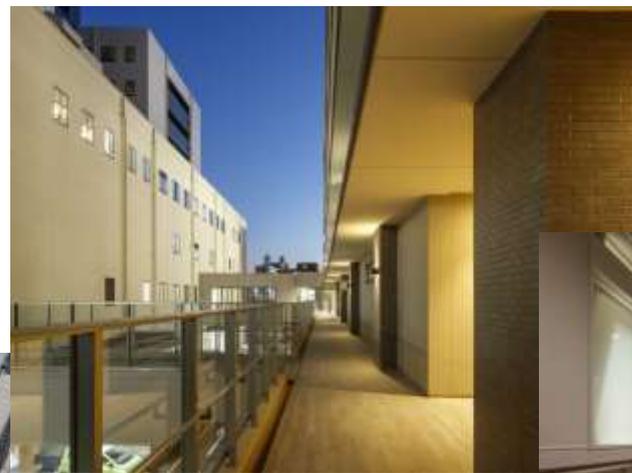
病院初の建築物意匠登録（意匠 第1672637号）

新病院『キラメキテラス ヘルスケアホスピタル』は「病院」部門における建築物の意匠として、国内で初めて登録されました。

建築物意匠登録全体としても、ユニクロ、JR東日本に次ぐもので、九州では初の登録となりました。意匠登録された「ゼロ動線病棟」は、「縁側廊下」と名付けた共用空間を外壁側に配し、病棟と廊下を一体とした採光規定などを利用し、病室の環境を向上させ、スタッフステーションと各病室を直結して医療者の「看護動線」を“ゼロ”（最短）とする平面計画です。

《動線》《病棟環境》《視線》に着目し、縁側採光に関する法規を病院建築に適用したもので、従来の手法にない新時代の病院デザインであることが、意匠登録の決め手となりました。

これにより、働くスタッフのモチベーションの向上に繋がるとともに、ビジネスの発展（オリジナリティのアピール、ライセンス機会の創出、信頼性向上など）や、ビジネスの保護（模倣品、類似品の排除、海外での審査などにおける優位性の獲得）の効果も見込んでいます。



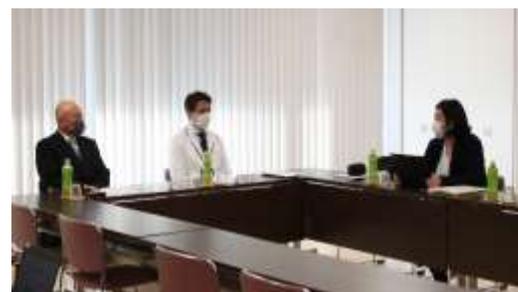
開院1周年（令和4年2月1日）

開院1周年を記念して、記念式典を開催いたしました。



日経BP社 日経ヘルスケア3月号掲載

当法人高田理事長と隣接するいまきいれ総合病院今給黎和幸理事長が、日経BP「日経ヘルスケア」の取材を受け、その記事が3月号に掲載される事になりました。



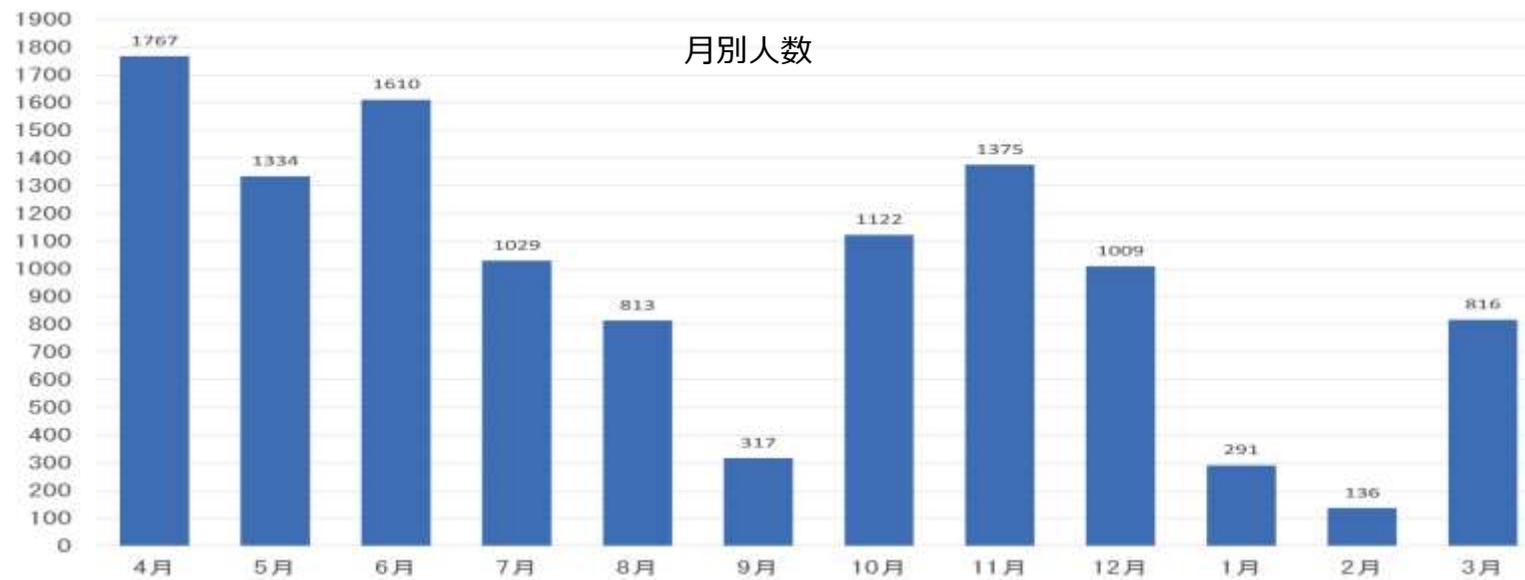
キラメキテラス ヘルスケアホスピタル トータルウェルネスセンター

トータルウェルネスセンター活動報告

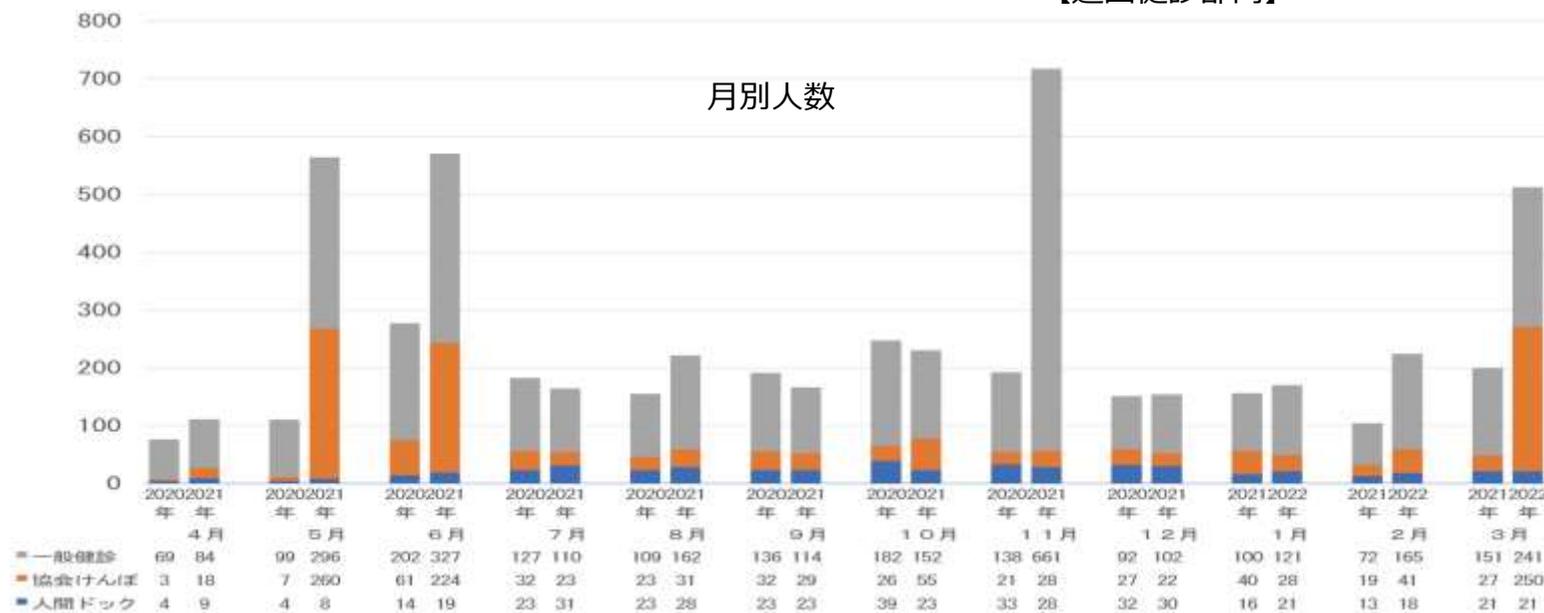
2021年6月に旧鯉坂クリニックを統合し誕生したトータルウェルネスセンターは、院内で実施する各種健康診断や人間ドック、レントゲン車にて県内各事業所を訪問し実施する巡回型の健康診断、産業医活動等、未病・予防分野を担当しています。



【院内健診部門】



【巡回健診部門】



鹿児島地区在宅サービス事業部

住宅型有料老人ホーム ほりえ

天文館までほど近い利便性の高いこの場所で、我が家のように安心して過ごせる笑顔の絶えない日々の暮らしをお約束します。



在宅サービス 訪問看護まむ鹿児島・訪問介護甲東・通所介護風の街・居宅介護支援事業所キラメキ

グループ内で有機的に連携し、地域のみなさまの安心・安全な暮らしサポートの窓口として、お気軽にご相談を頂いております。住み慣れたご自宅での生活のため、医師の指示・連携のもと医療的処置・日常生活サポートなど、療養生活の支援に努めています。



鹿児島地区在宅サービス事業部

地域密着型サービス 看護小規模多機能型居宅介護 星の街・キラメキテラス麗

2施設ともに鹿児島市でも利便性の高い場所に位置し、24時間看護師が対応できる体制を整え、在宅生活へのスムーズな移行・病状不安定期における在宅生活のご継続・ご家族さまに対するレスパイトケアなど、充実した療養生活のサポートをご提供しております。





-コロナ禍での学びをチャンスに-

昨年度に引き続き、2021年度もコロナ禍での生活となりました。コロナウイルスがα、β、γ、ε、そしてオミクロン株と変異するごとに新たな感染拡大の心配や、重症患者の増加などが心配されて来ました。特にε株は猛威をふるい世界中を振盪させました。ウイルスも生きることが必至で、迎え撃つ人間はワクチン開発そして、接種、さらに内服薬が開発されています。国内外でも様々な出来事がありました。アメリカではバイデン大統領が就任、日本では岸田政権に変わりました。東京オリンピック開催は賛否両論ありましたが、無観客で開催されました。今年になって北京で開催された冬季オリンピックも海外からは無観客での開催でしたが、コロナ対策では頻回なPCR検査、食事はロボットが調理するなど、中国の進化を感じた方も多いと思います。しかし、パラリンピック開催直前に始まったロシアのウクライナ軍事侵攻が勃発し、平和の祭典を蹂躪する残念な出来事でした。ウクライナ侵攻はまだ続いており、平和を願う現代ではあるまじき行為であり、ウクライナ国民のみならず全世界の人々が早い終結を望んでいます。

さて、当院での患者数は上半期(4~9月)までは前年に比べ減少が続き、病床稼働率も低い水準で移行しました。待機患者数も減少したこと、他院でもコロナ感染を心配し受診を控える、あるいは外出を控えることによる外傷などの減少により、患者数全体が低下したことが一因にあったと考えられます。他病院や施設でクラスターの発生が報告されると当院でも起こらないようにと注意喚起をしてきました。下半期は入院患者さんを増加させ、まずは稼働率を上げることに絞りました。毎回の医局会、スタッフ会議で稼働率アップをお願いしたところ、皆さんのおかげで、9月からは稼働率が上向きになり95%前後で推移していき、年度末は昨年同様の収支になると予想されました。

今年に入ってコロナ感染陽性者が散発はしていましたが、それぞれの対応で拡大することなく経過していました。ところが3月3日に職員と患者さんから5名が陽性と判明しました。患者さんはコロナ対応病院に転院でき一安心する間もなく、その後の2日間で計30名に感染が拡大しました。いわゆるクラスターの発生ですが、急速な感染爆発となりました。保健所から軽症者は自院で経過観察を指示されましたが、急性期病院でもなく、感染病室もないため対応に苦慮しました。最低限やるべきこと、1)ゾーニング、2)入退院に関するロックダウン、3)フルPPE、4)患者さん全員にラゲブリオ投薬、5)保健所との連絡(濃厚接触者の選定と検査)としました。終わりの見えない戦いでしたが、毎朝、感染状況、病棟・病室状況をチェックしながら即応していきました。結果的に職員26名、入院患者さん34名の合計60名の陽性者となりました。コロナ感染症で1名が亡くなりましたが、複数の合併症を持つ患者さんが多い当院で、クラスター発生で多数の感染死亡が出なかったことは不幸中の幸いでした。

今回の課題として、1)自院で、短期間で多くの感染者の治療を行うことは想定していなかったこと、2)9室の陰圧室が分散しており、ゾーニングには役に立たなかったこと、3)フルPPEの訓練不足、4)感染時の各部署との連携と明確な仕事分担、5)全体での情報共有の欠如など、が挙げられました。今後も新たな感染が起こることが予想されますが、今回のコロナ禍の学びをチャンスととらえ、自力で感染対応を行っていくシステム作りと日頃からのシミュレーションが重要です。

本年度も前年度に引き続き、3Aのスローガン、1)安定した経営、2)安心な医療、3)明るい職場を掲げました。安定した経営、安心な医療に関しては、コロナ禍で思うようにならなかったことが多くありました。一方で、陽性者が多く出た環境でも、職員の皆さんが一同団結して懸命に頑張っていたことに深く感謝いたします。厳しい状況を乗り越えたことで、個人として、組織としてまた一歩前進できたのではないかと思います。2022年の新年にあたり、前述の3Aに3Bを付け加えました。まず自分自身の可能性を信じること、Believeです。懸命に頑張れば大きく、すなわちBigになれる。個人が大きくなれば組織も大きくなります。自分をBelieveし、Bestをつくり、Bigになりましょうという話をしました。本年度からいよいよ「JOYタウン構想」のもと、移転が具現化していきますが、職員一同が本年度も進化する病院をめざし、勇往邁進していきます。

2021年度一年間のご協力に感謝申し上げますとともに、2022年度も何卒ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

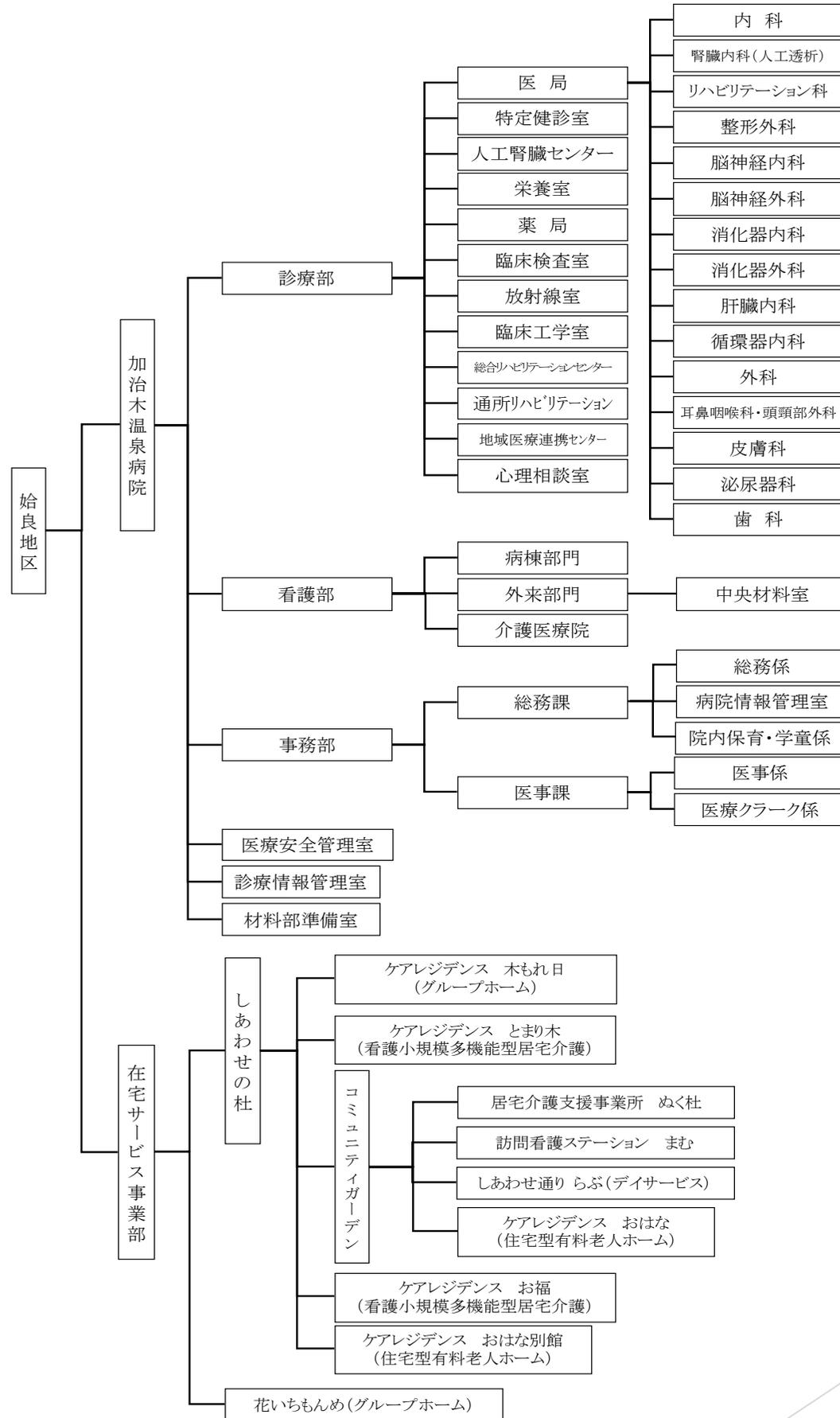
加治木温泉病院長
始良地区担当理事

夏越 祥次



始良地区組織図 (2022年3月現在)

地区担当理事の下、地域の人工透析およびリハビリテーションの中核施設である加治木温泉病院と在宅サービス事業部が、有機的に連携して医療サービスを提供できるよう組織されております。



病院概要



院長 : 夏越祥次
開設日 : 昭和53年6月15日
病床数 : 230床(一般97床、療養133床)
介護医療院 : 60床

指定医療機関

- ・ 救急告示病院
- ・ 在宅療養後方支援病院
- ・ 開放型病院
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.1.1)
- ・ 日本医療機能評価機構付加機能
(リハビリテーション機能Ver.3 0)
- ・ 慢性期医療認定病院
- ・ 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域
リハビリテーション広域支援センター(脳血管疾患等)
- ・ 国土交通省(JCAB)指定航空身体検査機関
- ・ アメリカ連邦航空(FAA)指定航空身体検査機関
- ・ 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条
第1項の規定による指定医療機関
- ・ 消化器がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん
健診精密検査医療機関
- ・ 肝疾患治療かかりつけ医療機関
- ・ 日帰り人間ドック実施指定病院
- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定病院
- ・ 国土交通省 短期入院協力病院
- ・ 診療・検査医療機関



始良地区在宅サービス事業部

住宅型有料老人ホーム

しあわせの杜ケアレジデンス おはな・おはな別館

「おはな」とは、ハワイの言葉で「家族」を意味する言葉です。
その言葉に込めた気持ちを胸に、もうひとつの我が家のように、自然に囲まれた
安心・安全な環境の中で穏やかな日々の暮らしをご提供いたします。



始良地区在宅サービス事業部

在宅サービス

居宅介護支援事業所めぐく杜・訪問看護ステーションまむ
デイサービス しあわせ通りらぶ

訪問専門の、経験豊富な看護師・理学療法士・言語聴覚士・作業療法士など充実したスタッフが24時間体制でご対応します。また、医師や関係機関と連携を図り、さまざまな在宅サービスをご提案します。



地域密着型サービス

看護小規模多機能型居宅介護 お福・とまり木
グループホーム 木もれ日・花いちもんめ

「通い」「泊り」「訪問」サービスを有機的に組み合わせ、ご利用者さま・ご家族さまの状況にあわせて、住み慣れた地域で生活を継続するために、適切な健康管理・日常生活上の支援を行います。

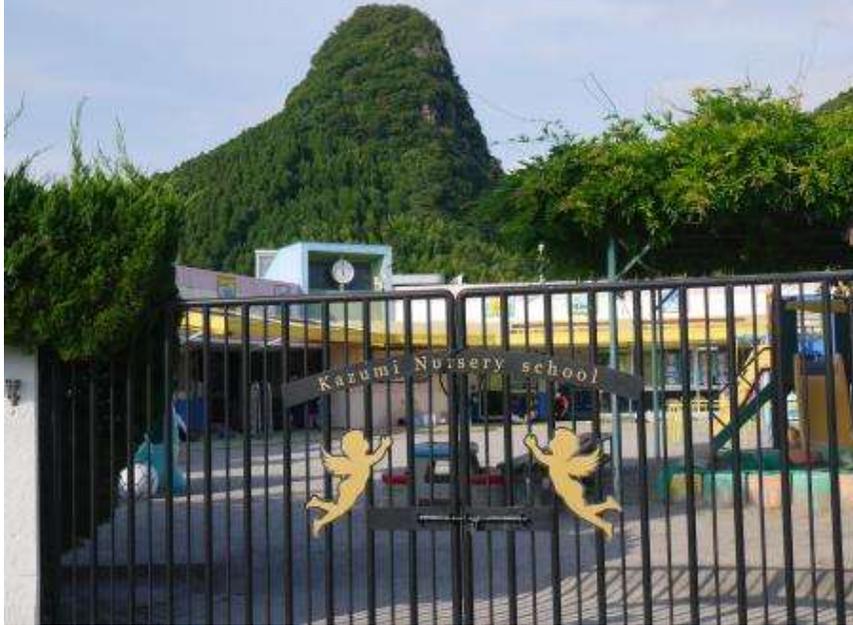
食事・入浴をはじめとした日常の支援と、ご利用者さまだけでなく、ご家族さまも含めた、もしもの時の緊急時対応が可能です。



始良市のかずみ保育園を運営する玉昌会グループの社会福祉法人です。

法人理念 Be HAPPY

地域に愛せられ、地域に必要とされ、
関わる全ての人々を幸せに導く法人を目指します。



園の概要

定員…60名

開園時間… 7:00~19:00

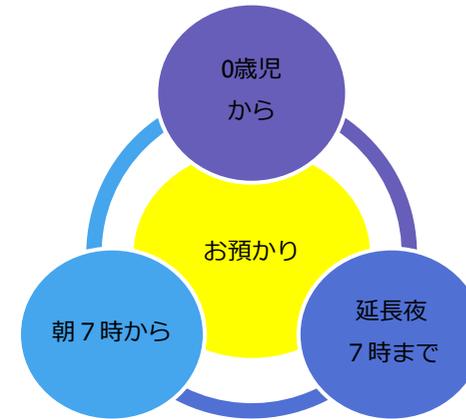
保育目標



保育理念

乳幼児期の体験は一生の宝物

私たちは子どもの限りない可能性を大切に保育いたします。



4月

• 入園式・進級式

5月

• 春の遠足

6月

• 歯科検診

7月

• かずみ夏祭り

8月

• スペシャル保育

9月

• 十五夜会

10月

• 運動会

11月

• 秋の遠足

12月

• クリスマス会

1月

• 凧あげ大会

2月

• リズム発表会

3月

• 卒園式

経営理念 Make Your JOY

あなたに会えて良かった・・・と喜んでいただけることが私たちの喜びです。
私たちは、そんな出会いの場とサービスを提供することを、
もっとも大切な使命とこころえています。

ABOUT US

お客様の充実した生活をサポートするため、販売事業やカルチャー事業、
清掃事業、ウェルネス事業さらには、街づくり構想事業を通して、人と人の
繋がりや出会いを大切にする、サービス提供を目指しています。

株式会社JOYは“wellness”を軸にヒト・モノ・コトに通じるサービスを提供します。
「Make your JOY」という理念のもと、地域社会との連携を大切に、真心を込めたサー
ビスを提供します。

私たちはウェルネスマーケットの『care』を捉え、政府の成長戦略の一つに位置付け
られている「健康寿命延伸」へ向けて取り組むべく、様々な事業・施設・サービスを組
み合わせ、地域の皆様の多様なニーズに応えていきます。



「私らしく、ここから。」ここから始める、Wellness Life.

「私らしく」とは、自分なりの考え、感性を大切にすること。
心には喜びと希望があり、身体はその人らしくであること。



「GYM」「YOGA」「SPA」「GARDEN」を軸とし、
「健康寿命延伸」を目的とした“wellness”な空間を創出。
ジムやスタジオで軽快に。ヨガで心身のバランスを。スパで心に潤いを。
そのほか、本とコーヒーを愉しむカフェや、多世代・多文化交流を深める
多目的ホールも併設。

人生の各ステージの人々が、自らの意志で選択できる喜び、
明日に希望がもてる幸せ、健やかに歳を重ねることの豊かさなど。
「WellBe Club」には、多くの願いと想いが込められています。



健診事業統合

6月1日にキラメキテラスヘルスケアホスピタル内に「トータルウェルネスセンター」を発足し、鯉坂クリニックの事業を引き継ぎました。



医療法人 玉昌会

「日経×TECH special」に掲載

2月に玉昌会DXプロジェクトに於けるAzure Stack HCI導入事例として、デル・テクノロジー社・日経BP社より取材を受けました。



医療法人 玉昌会

ウェルネスイベント「ココカラ診断」開催

11月7日玉昌会グループが運営するWellBeClubの4周年イベントとして「ココカラ診断」を実施いたしました。



医療法人 玉昌会

エコアクション21 更新

2年に一度行われる、エコアクション21訪問更新審査を終え、無事更新する事ができました。



医療法人 玉昌会

電子カルテ リプレイス開始

10月1日の加治木温泉病院稼働を皮切りに、12月1日キラメキテラスヘルスケアホスピタル稼働という流れで電子カルテのリプレイスを開始しました。



医療法人 玉昌会

鹿児島商工会議所 集団健康診断 インフルエンザ予防接種

12月23日・24日に鹿児島商工会議所と連携し、アイムビルにて「集団健康診断」及び「インフルエンザ予防接種」を実施いたしました。



医療法人 玉昌会

「ケアレジデンスお福」看護小規模多機能型居宅介護へ施設転換

10月1日にケアレジデンスお福が「小規模多機能型居宅介護」から「看護小規模多機能型居宅介護」事務所へ施設転換いたしました。



医療法人 玉昌会

合同防災訓練実施

11月23日にキラメキテラス街区（南国殖産、キラメキテラスヘルスケアホスピタル、いまきいれ総合病院）の防災訓練を行いました。



医療法人 玉昌会

健康経営優良法人2022 ホワイト500 認定

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」に認定されました。本認定の取得は、4度目の認定となります。



医療法人 玉昌会

健康経営宣言

玉昌会グループは、法人理念として「いつまでも健やかに・・・ ー私たちの願いです」を掲げ、職員の健康維持こそが経営の根幹理念と位置付け、いきいきと安全で安心して働ける職場環境をつくるという基本姿勢の下「健康宣言」を発表し健康経営を推進していきます。

玉昌会グループは、健康・医療・福祉・社会生活を総合的に支援するパートナーとして、地域社会に密着したきめ細やかな社会環境づくりと、地域包括ケアシステムをベースとした「ヒューマンライフライン」を構築し、全世代に対応した健康・医療介護・福祉サービスを含めた総合生活支援サービスを提供していく法人を目指していきます。

健康は本人だけでなく家族を含めた大いなる社会の望みであり、法人を含め社会の発展にとっても欠かせない要素で、日々の家庭生活が充実してこそ仕事を通して最高のパフォーマンスが発揮できます。

また健康寿命延伸により、職員は有意義で充実した高齢期の人生を送る事が可能になり、日本における現代社会の要請でもある今後不足する労働力の確保、並びに医療費削減等にも繋がってきます。

玉昌会グループはここに、経営を通じて職員の健康の維持向上に努めることを宣言いたします。

健康経営基本方針

健康管理・支援

職員の健康管理のため、健康アプリを活用し、健診結果に基づき、再検診の推進、重症化予防、高リスク保有者への対応等を行います。

健康増進活動の推進

ウォーキング推進、運動イベント等、様々な活動を通じ、職員の健康増進を推進します。

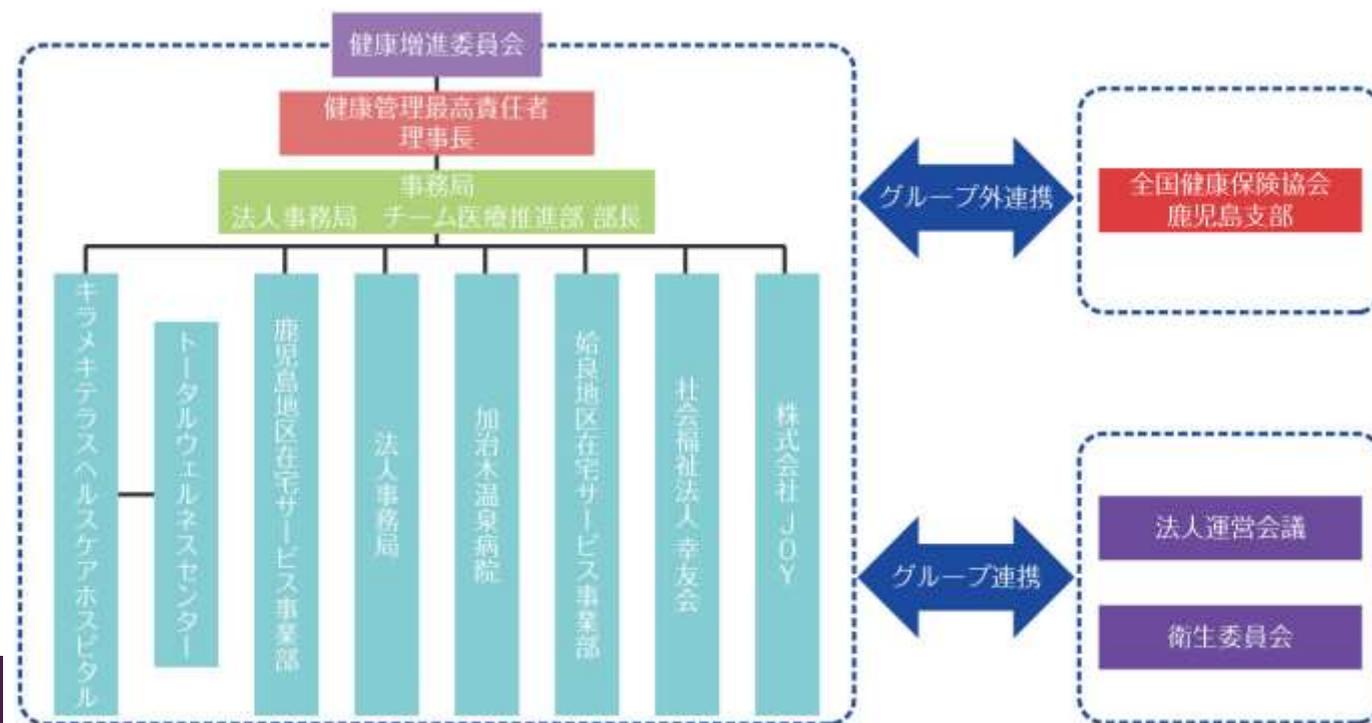
働き方改革への取り組み

健康経営の考え方にに基づき、仕事と生活を両立できる働き方と職場環境の実現を目指します。

健康増進の体制

健康増進委員会を設置し、労働安全衛生委員会と連携して、従業員の健康増進とそれにつながる職場環境の向上に取り組んでいます。

理事長を健康管理最高責任者（CHO）かつ健康増進委員会の委員長とし、各部門から委員を選出することで、健康増進への取り組みが社内の隅々まで浸透する体制としています。



ホワイト500認定

玉昌会は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度～ホワイト500～」に2019～2022の4年度にわたり、連続で認定されています。

玉昌会グループは、法人理念として「いつまでも健やかに…私たちの願いです」を掲げ、職員の健康維持こそが経営の根幹理念と位置付けし、いきいきと安全で安心して働ける職場環境をつくるという基本姿勢のもと、「健康宣言」を発表し、健康経営を推進していきます。

玉昌会グループは、健康・医療・福祉・社会生活の総合サポート企業として、地域社会に密着したきめ細やかな社会環境作りと、地域包括ケアシステムをベースとした「ヒューマンライフライン」を構築し、全世代に対応した健康・医療介護・福祉サービスを含めた総合生活支援サービスを提供していく法人を目指していきます。

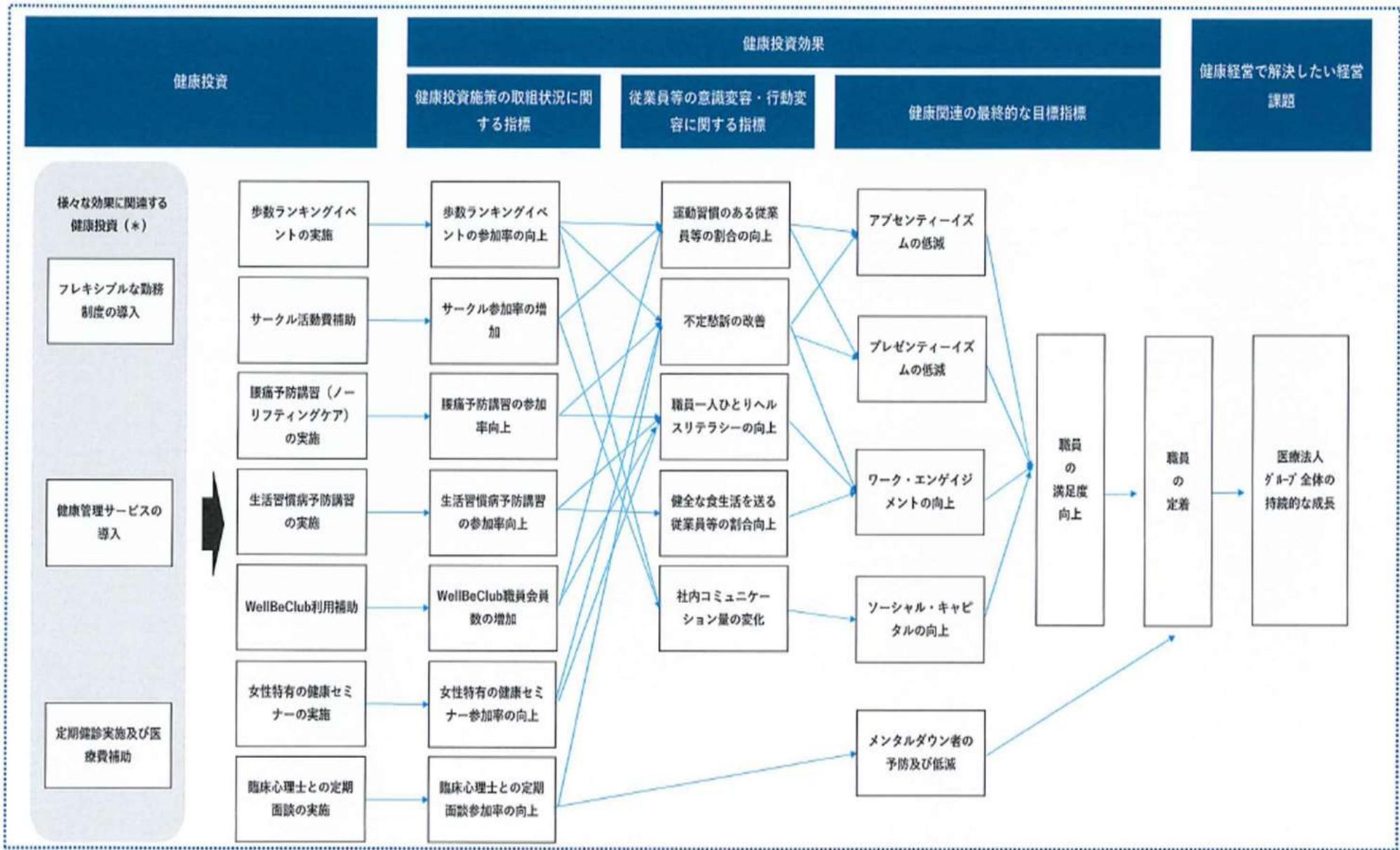


健康経営戦略

少子高齢化が進み、医療・介護・福祉サービスの重要性が高まり、人材確保の難易度が増す中で、働きやすい環境・体制を整備し医師・職員の定着・採用数の向上を実現することは当法人が、持続的に成長し、きめ細やかな医療環境を患者様・サービス利用者様に提供する上で大きな課題です。

玉昌会グループでは、ワーク・エンゲイジメント、ソーシャル・キャピタル、コミュニケーションを改善し、会社満足度を向上することにより人材を定着し、採用数を増加させることを健康経営の戦略とします。具体的には、職員を含めた退職率は各年度15%以下の維持を目指し、復職リハビリ実施後の平均復帰日数を120日以下の維持を目指します。

健康経営戦略マップ



SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2020年7月、鹿児島市は国より「SGDs未来都市」に選定され、国際社会全体で取り組む共通目標であるSGDsの達成のため、その普及・啓発に積極的に取り組んでいます。

その一環として、市民や事業者と連携を図るために「かごしまSDGs推進パートナー」の登録を進めており、2022年12月現在で215事業者が登録されています。

この取り組みに賛同し、玉昌会グループでは、医療法人玉昌会と株式会社JOYが登録事業者となっており、医療・福祉部門では現在11事業者が登録されています。



エコアクション21

玉昌会は、環境経営の手法「EA21」にいち早く自発的な取り組みを行い、2020年度には、環境省が主催する「環境コミュニケーション大賞」※の「環境経営レポート部門・優良賞」を受賞いたしました。

またNPO法人九州環境カウンセラー協会主催の「環境経営レポート大賞・九州」では、過去5年連続の受賞を頂いております。

- 2016年度 「地域社会貢献賞」
- 2017年度 「事業における環境貢献賞」
- 2018年度 「九州環境カウンセラー協会特別賞」
- 2019年度 「SDGs賞」
- 2020年度 最上位賞 「九州環境経営レポート大賞」
- 2021年度 「エコアクション21永年継続事業者感謝状」

※「環境コミュニケーション大賞」
 環境省とその外郭団体一般社団法人地球・人間環境フォーラムが主催する、あらゆる媒体における、優れた環境報告を表彰する制度です。
 2020年度は、エコアクション21登録法人7,470法人のうち、261法人から応募がありました。受賞した74法人のうち、玉昌会は医療法人としては唯一の受賞となりました。

「エコアクション21」の取り組みを開始して10年目の節目を迎え、環境省から永年継続事業者として感謝状を頂いております。

2021年度は昨年度の病院新築移転に引続き、在宅施設の新設、移動健診部門の病院への統合等、再編成が行われた年になりました。法人全体で大きく規模や事業部門の再編成を行った為、環境負荷に対する実績値把握の1年に致しました。

環境経営PDCAサイクルを着実に回し続けることにより、地域の皆様が必要とされる医療・介護・福祉サービスの提供と、環境への配慮・保護において、相乗効果による水準向上に努めて参ります。



環境経営の具体的取組

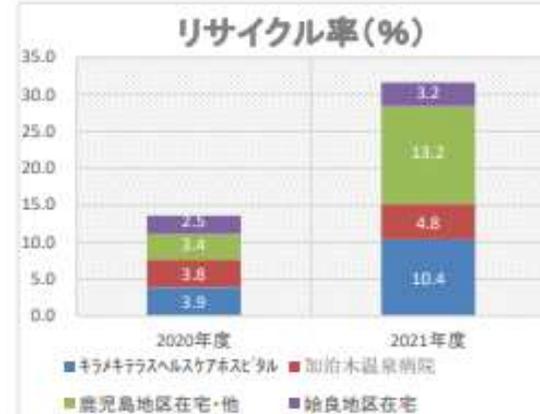
玉昌会は、基本理念と行動指針を柱に、医療・介護・福祉サービスを提供させて頂いております。今後も地域の皆様とともに、よりよい社会を築くために、事業活動においても地球環境保全を経営上の優先課題として環境経営に取り組んでまいります。

2021年
マテリアル
バランス



項目	年度	2020年度 (基準年)	2021年度				2022年度	2023年度	2024年度
			実績	目標値	基準年比 達成率(%)	評価			
「全体の二酸化炭素排出量削減」	(単位:t-CO ₂)	2,010.5	2,443.4	-	21.5%増	-	2,431.2	2,419.0	2,406.8
・電気使用量によるCO ₂ 排出量		1,594.3	1,762.6	-	10.6%増	-	1,753.7	1,744.9	1,736.1
・燃料及び稼働からの供給熱源使用量によるCO ₂ 排出量		416.2	680.9	-	63%増	-	677.5	674.1	670.7
「水資源の節水」(水の使用量削減)	(単位:m ³)	87,231	99,437	-	14%増	-	98,940	98,443	97,945
「廃棄物排出削減」	(単位:t)	469.9	529.8	-	12.7%増	-	527.2	524.5	521.9
・産業廃棄物削減		275.6	293.5	-	6.5%増	-	292.0	290.6	289.1
・一般廃棄物削減		194.3	236.3	-	21.6%増	-	235.1	233.9	232.8
「紙使用量削減」(コピー用紙使用量削減)	(単位:t)	12.2	12.7	-	3.6%増	-	12.6	12.6	12.5
「化学物質の適正管理」	(単位:t)	2.1	2.8				適正管理	適正管理	適正管理
「地域貢献」(地域清掃ボランティア活動等)	(単位:回)	16	16				16回以上	16回以上	16回以上

2021年
数値目標
実績



ワークライフバランス (WLB)

◆子育て支援の取り組み

医療法人玉昌会は、さまざまな支援制度を充実させ、結婚・出産後も安心して勤務できる環境整備に取り組んでいます。主な内容は以下の通りです。

- 24時間365日対応可能な院内保育所の設置
- 育児・介護短時間勤務制度の導入
- 育児休業・介護休業
- 子の看護休暇・介護休暇
- 未就学児への保育手当の支給
(同法人託児所以外の利用の場合も支給)
- 常勤の公認心理師によるメンタルヘルスケア
- 人財開発課による職員研修・復職支援
- 育児休業者等に対する職場復帰前の研修・情報提供
- 託児所を利用される方への駐車場の提供

このような取り組みが認められ、2009年には鹿児島県「かごしま子育て応援企業」として登録されています。

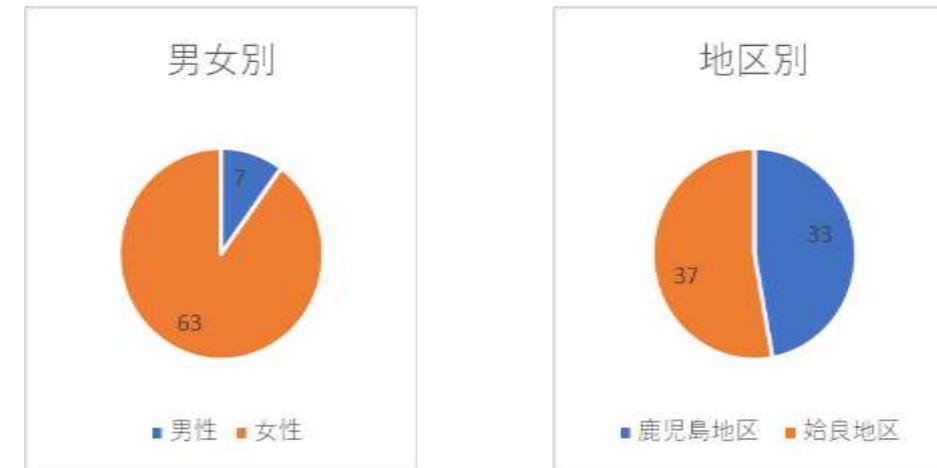
育児休業は、今年度も対象者全員が取得しており、院内託児所「チェリッシュ・キッズルーム」では、子供たちの笑い声が絶えません。



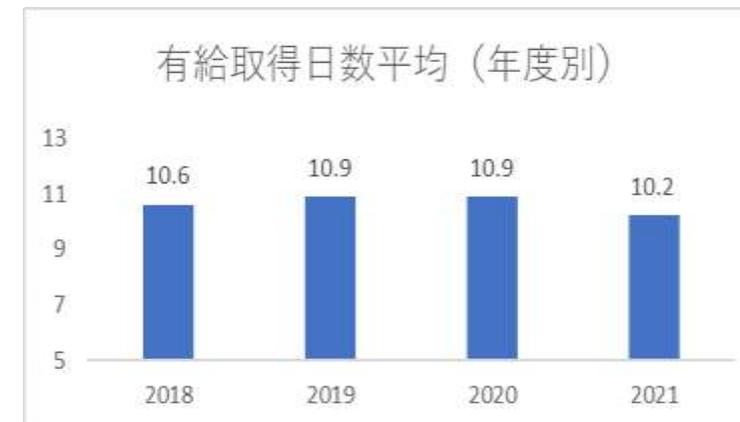
WLBとダイバーシティ

産休・育休取得者数（2021年4月から2022年3月まで）

女性が産休および育休を取得するだけでなく、男性も育休を取得しています。本年度は鹿児島・始良の両地区の合計で70名の産休・育休取得がありました。

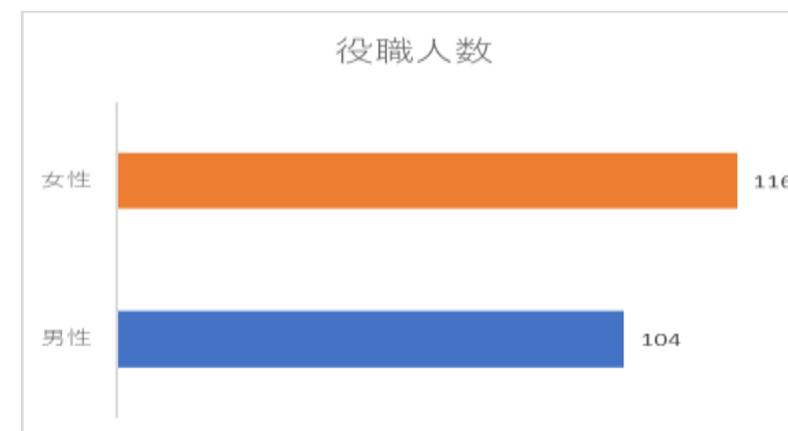


有休取得日数平均(年度別)

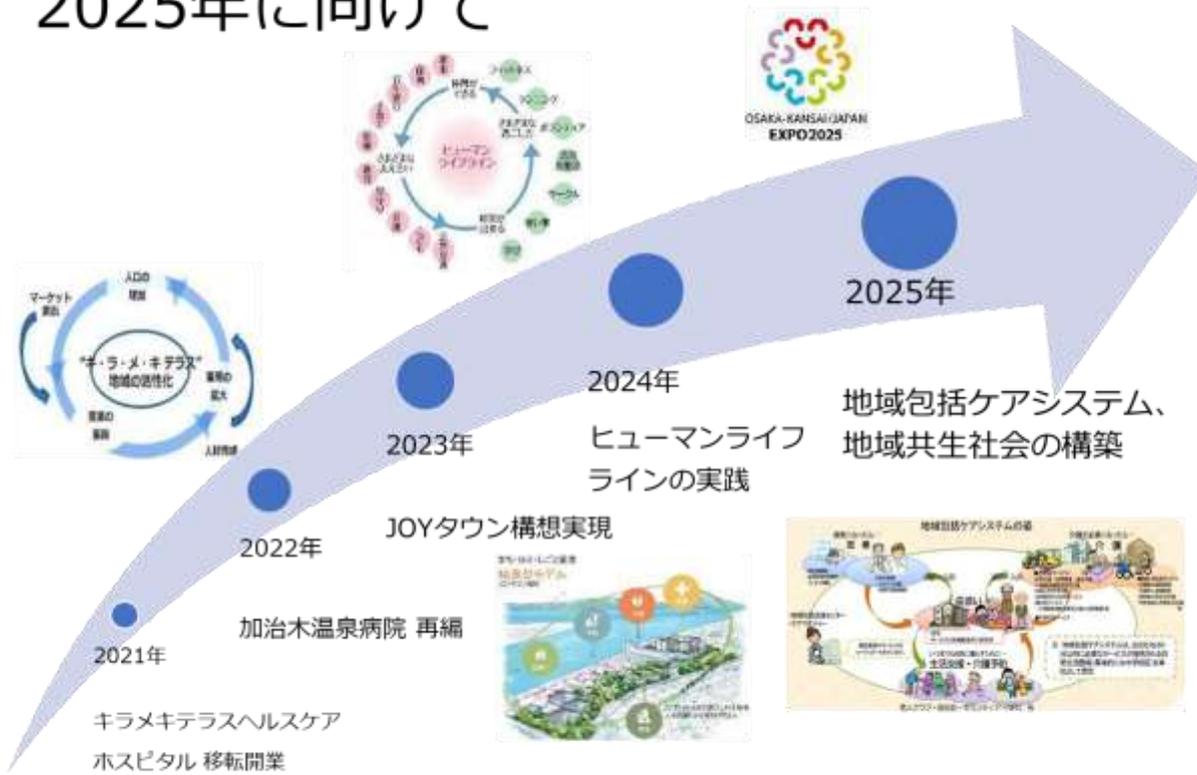


役職人数（2022年4月1日時点）

産休・育休の取得と復職時の支援制度、子育て開始後の有休取得の容易さなどを活用し、多くの女性役職者が活躍されています。



2025年に向けて



「始良 JOY タウン計画」は、加治木温泉病院を医療機能毎に分割し、始良市内の3つの中学校区で始良市民78,000人に対し、切れ目のない医療介護サービスと生活支援サービスを安定的に提供する仕組みで、地域完結型医療システムネットワークを構築するものです。



鹿児島・始良地区で成長してきた玉昌会は、

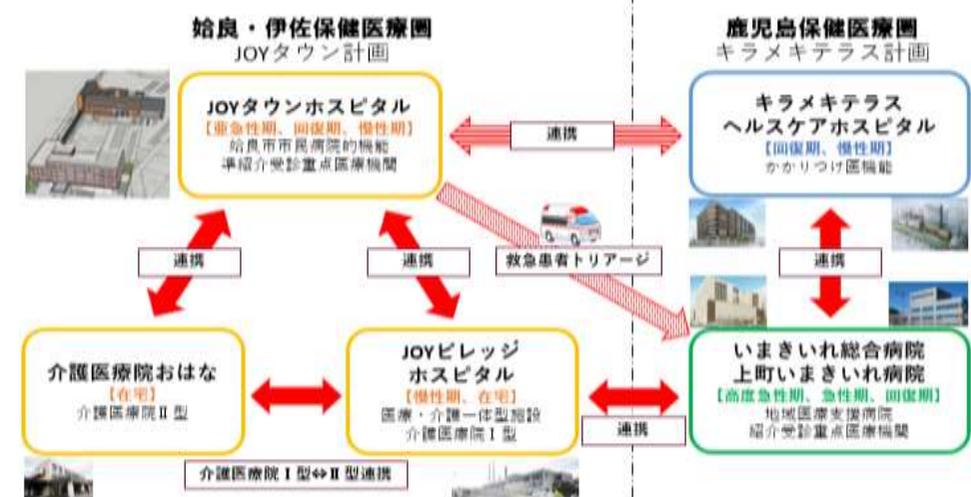
- 慢性期医療認定病院の取得
「県内2番目」
- エコアクション21の取得
「医療機関として鹿児島県初」
- 日本政策投資銀行の「環境・健康・BCM」3格付取得
「医療機関として全国初」
- DBJビジョナリー・ホスピタルに認定される など、

先進的な経営に取り組んでまいりました。

これからも健康経営を実践し、従業員の健康管理・増進の支援を続け、九州一のビジョナリティ・ホスピタルを目指して、激しい変化の中でも医療業界の最先端を走り続け、SDGsの観点から引き続き企業の持続可能性を高める経営を行ってまいります。

これから鹿児島市のキラメキテラス展開、始良市のJOYタウン構想を実践していく中で、地域包括システムを基盤とした地域共生社会の実現を目指してまいります。

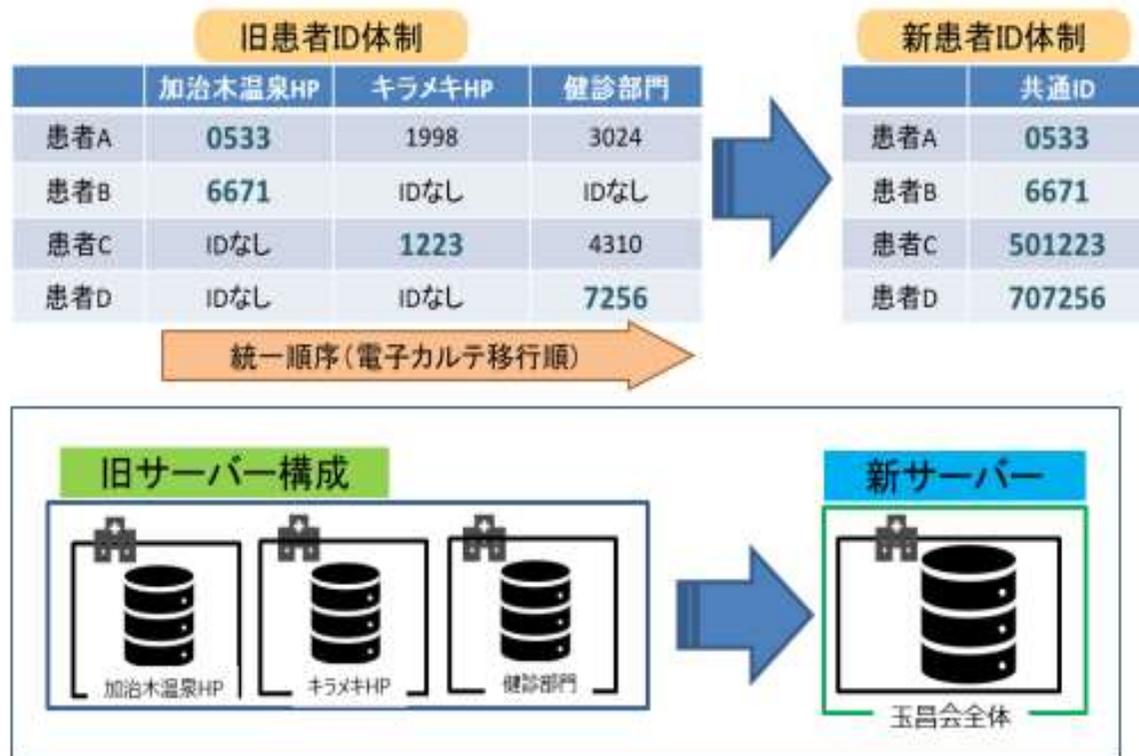
鹿児島県からの情報発信として、2025年の大阪万博でヘルスケア部門への出展を予定しており、さらに将来はその地域包括システムをアジアへ輸出していく展望も持っております。



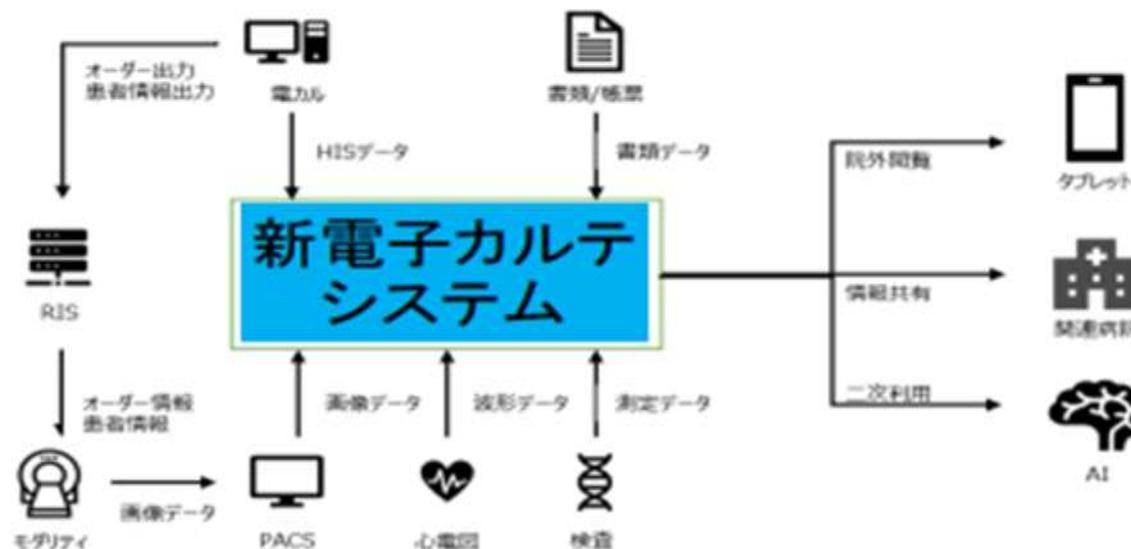
電子カルテシステムのリプレイス

玉昌会グループでは、従来から医療部門を中心に電子カルテシステムを活用して参りましたが、2021年度に各拠点のシステムを順次リプレイス（更新）し、グループ内のシステムを一つに統合しました。このリプレイスにより、従来各拠点ごとに採番していた患者様ひとりひとりのIDを統一し、各拠点で共通して利用することが可能になりました。

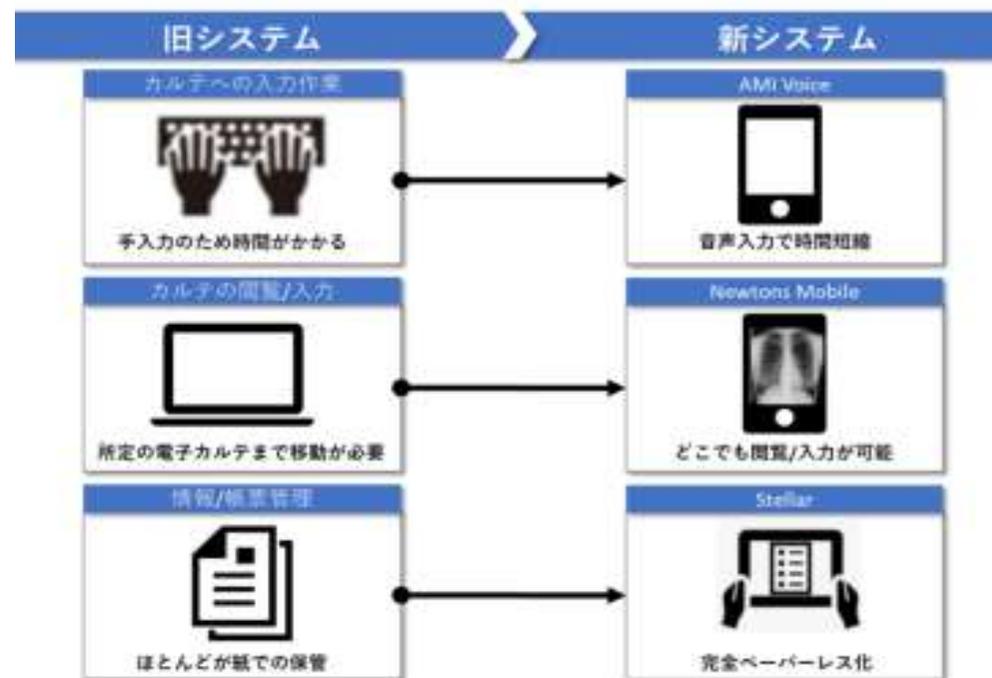
ハード面では各拠点ごとに設置していたサーバーを統合し、クライアント端末の刷新と共通化により、情報容量の大幅な拡大とセキュリティの強化、操作性の向上を実現しました。ソフト面でも共通の患者IDを活用した診療情報の一元化のみならず、従来は紙で保管していた患者様からの申込書や同意書を電子情報で保管しペーパーレス化することができました。



従来の電子カルテシステムでは個別に管理されていた各種の情報を、新システムで一元化して管理することにより、さまざまな検査データや過去の治療情報、服薬情報などを有機的に連携して活用し、医療サービスの向上に努めて参ります。



スマートフォン型タブレットの導入による音声入力の活用や、各種情報の閲覧、紙での情報保管をペーパーレス化し、業務の効率化と紙使用の削減を図ります。

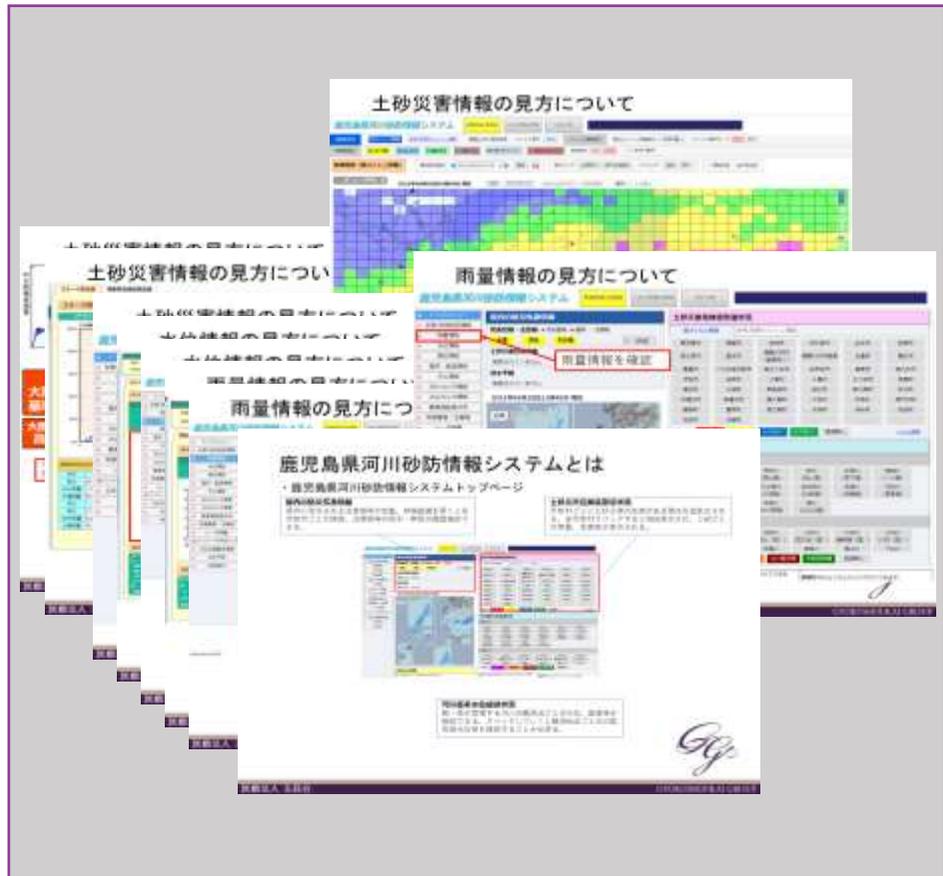


事業継続計画（BCP）

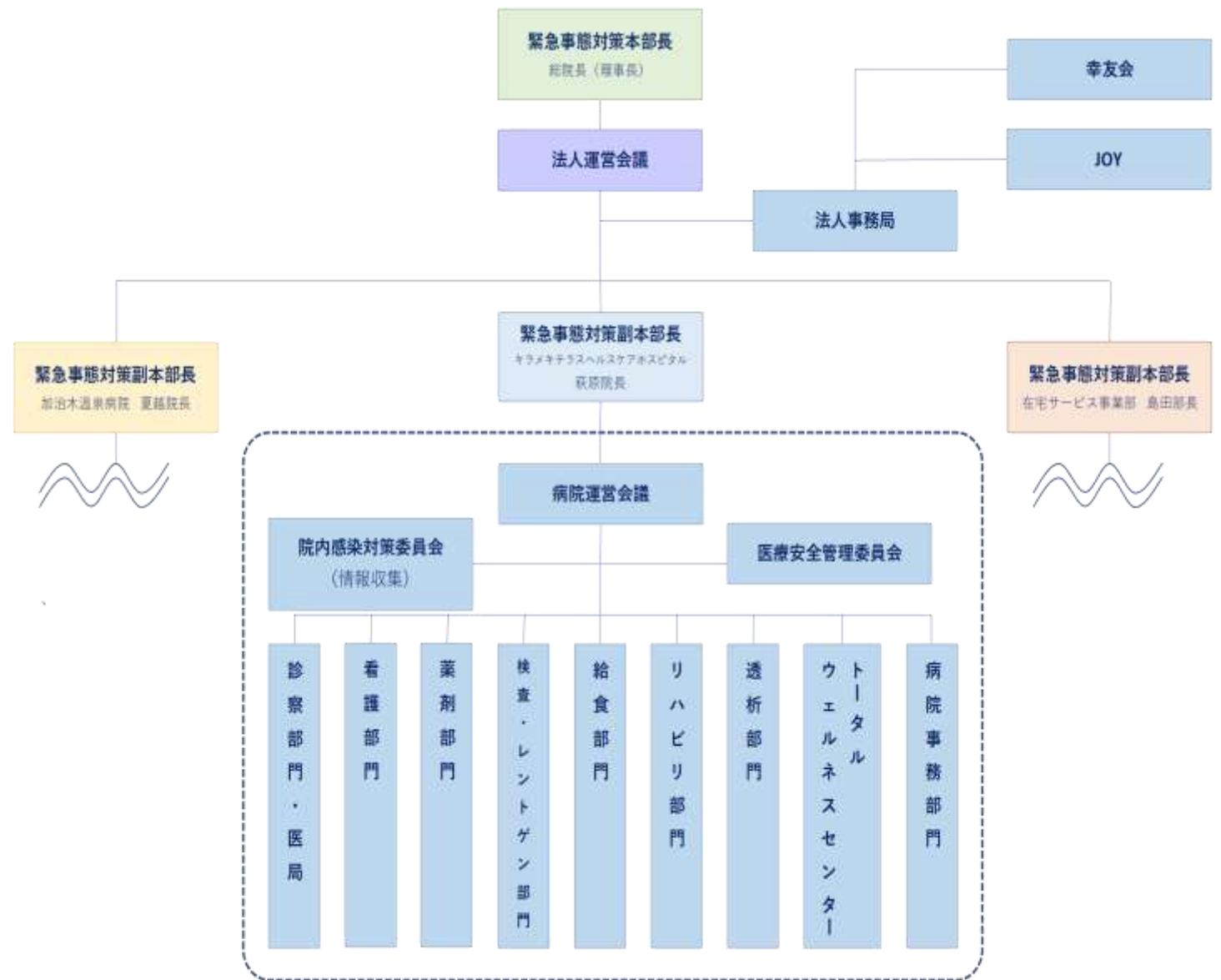
玉昌会では、事業継続計画（BCP）の一環として、大規模災害や新型コロナウイルス感染症への備えを進めています。

理事長を緊急事態対策本部長とするBCP体制を構築し、万が一の緊急事態が発生した場合、粛々と対応するための組織的準備を行っています。

県河川砂防情報システム 対応マニュアル



緊急事態発生時 対策組織図



資料編

- ▶ 財務データ
- ▶ 職員数
- ▶ 患者数・紹介件数
- ▶ 施設連絡先一覧



貸借対照表

(単位：百万円)

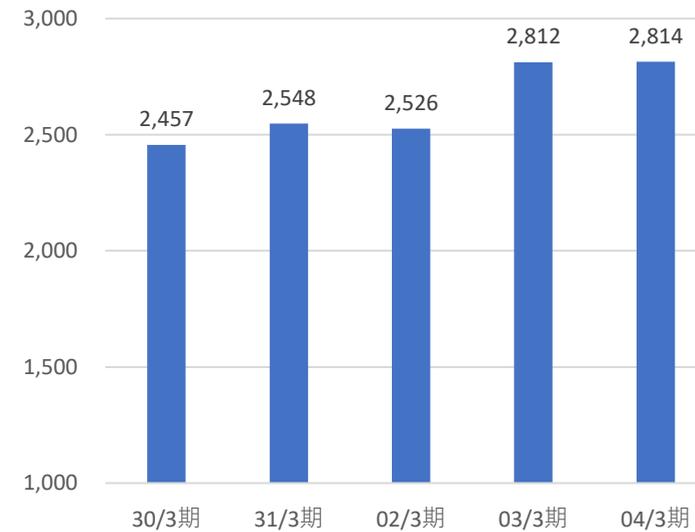
	30/3期	31/3期	02/3期	03/3期	04/3期
現金預金	2,078	1,929	2,709	1,882	1,901
医業未収入金	998	1,042	1,096	1,102	1,111
棚卸資産	34	33	34	34	39
その他	1	2	17	71	73
流動資産	3,112	3,007	3,857	3,089	3,124
建物・構築物	1,221	1,298	2,168	4,189	3,955
土地	2,517	2,526	2,579	2,560	1,764
医療機器他	83	52	50	93	82
奨学金貸付金他	294	316	332	367	364
保険積立・保証金他	155	222	211	531	523
固定資産	4,271	4,414	5,340	7,740	6,688
総資産	7,382	7,420	9,197	10,828	9,812
買掛金	287	298	302	296	205
短期借入金	1,612	1,665	3,608	626	298
流動負債	2,657	2,891	4,851	1,777	1,310
長期借入金	1,671	1,309	1,193	5,584	5,025
退職給与引当金他	598	672	625	656	663
固定負債	2,268	1,981	1,818	6,240	5,688
資本金	3	3	0	0	0
剰余金	2,454	2,545	2,526	2,812	2,814
純資産	2,457	2,548	2,526	2,812	2,814

損益計算書

(単位：百万円)

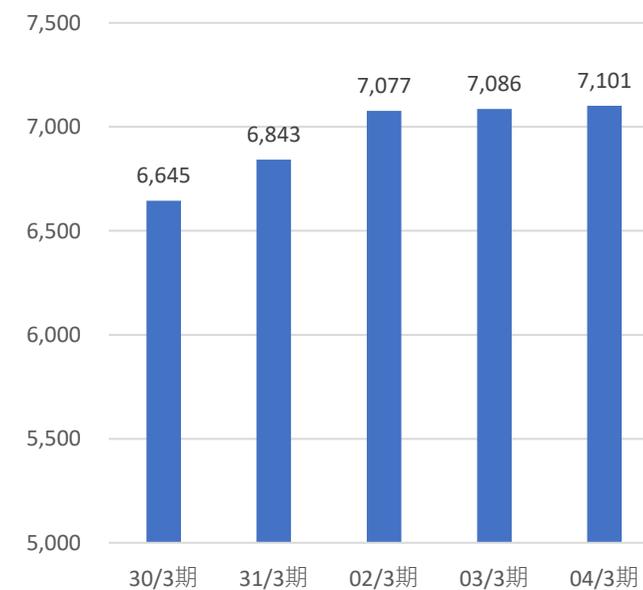
	30/3期	31/3期	02/3期	03/3期	04/3期
医業収入	6,645	6,843	7,077	7,086	7,101
キヲキヲスHCHP	2,250	2,274	2,290	2,223	2,594
加治木温泉	3,692	3,813	3,986	4,034	3,805
在宅事業	703	678	713	735	701
医業費用	6,224	6,566	6,770	6,732	7,199
人件費	3,849	4,093	4,270	4,170	4,583
材料費	1,138	1,196	1,268	1,219	925
委託費	190	200	283	221	359
減価償却費	112	135	118	144	267
その他	935	851	831	978	1,065
医業利益	420	277	307	353	▲ 98
医業外収益	57	67	64	111	127
医業外費用	40	42	51	439	198
支払利息	(40)	(42)	(50)	(48)	52
経常利益	437	302	320	25	(169)
特別収支	▲ 175	▲ 136	▲ 299	43	173
税引前当期利益	261	166	21	68	4
税金	▲ 113	▲ 75	▲ 82	218	▲ 1
当期利益	149	91	▲ 61	286	3
償却前利益	261	226	57	430	270

純資産額



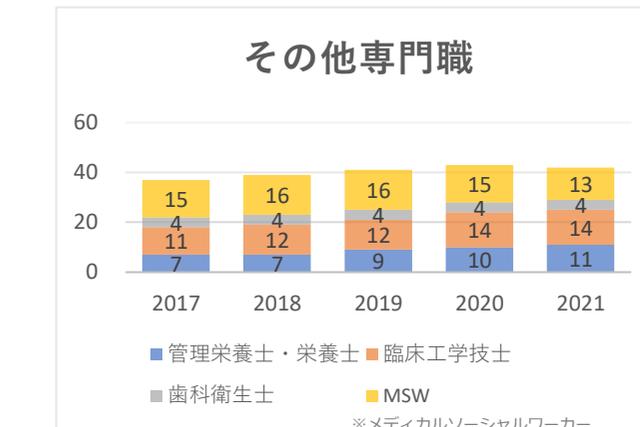
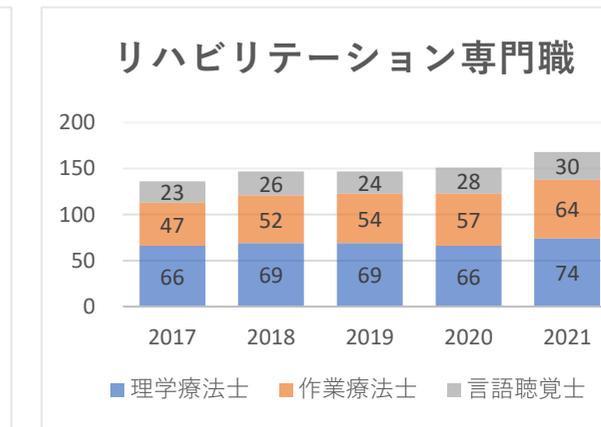
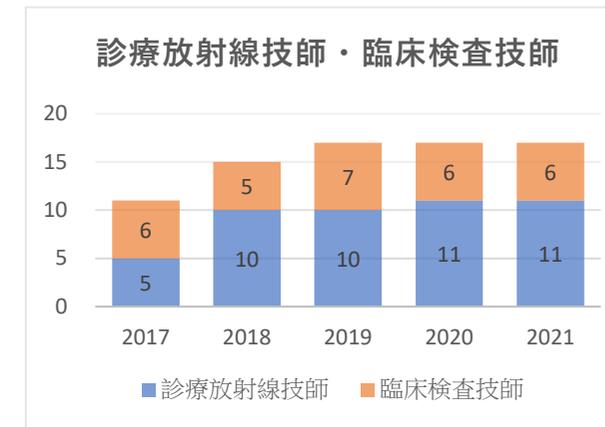
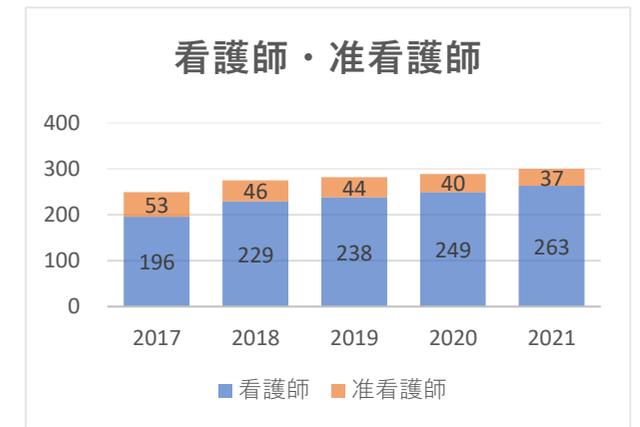
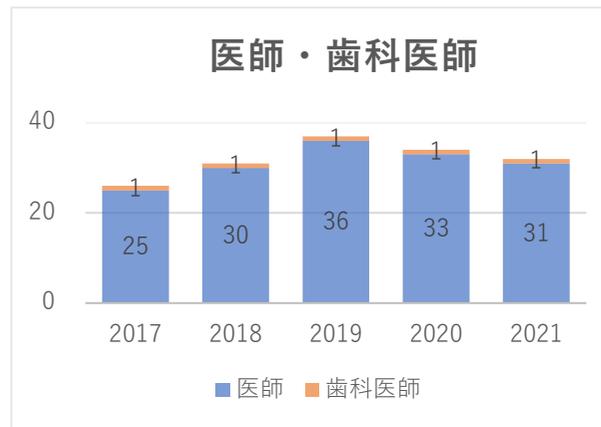
一般企業の自己資本に相当する純資産は、財務の安定性を示します。玉昌会は28億円の純資産を背景に新病院建設の資金を調達し、その後も純資産比率は健全な水準を維持しています。

医業収入



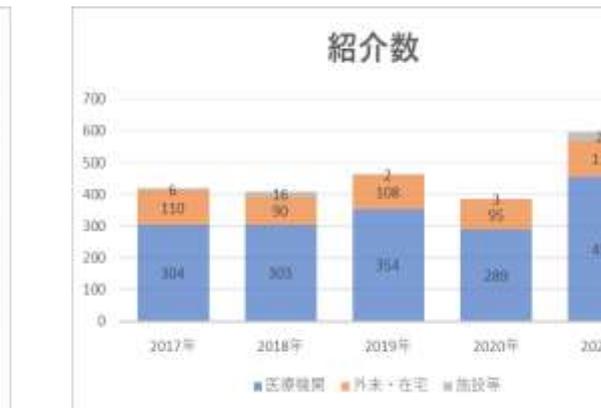
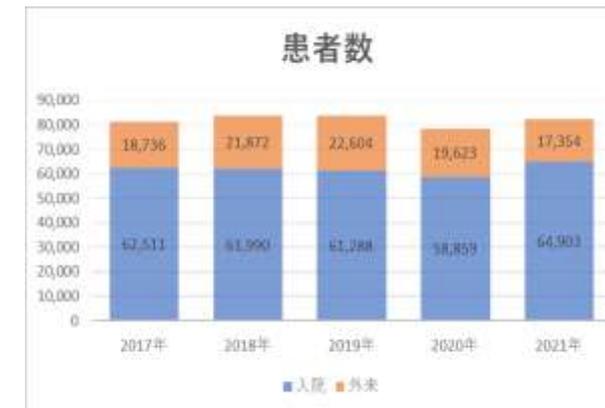
一般企業の売上に相当する医業収入は、5期連続で増収しています。

職員数



患者数・紹介件数

キラメキテラス ヘルスケアホスピタル



加治木温泉病院



施設連絡先一覧 (2022年12月現在)

医療機関

- キラメキテラス ヘルスケアホスピタル
〒890-0051 鹿児島市高麗町43番30号 TEL 099-250-5600 FAX 099-250-5151
- キラメキテラス ヘルスケアホスピタル トータルウェルネスセンター
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目16番3号 ユーファーストビルディング 4階
TEL 099-203-0215 FAX 099-203-0216
- 加治木温泉病院
〒899-5241 始良市加治木町木田4714 TEL 0995-62-0001 FAX 0995-62-3778
- 介護医療院おはな
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地5 TEL 0995-63-8889 FAX 0995-62-0120
- JOYメディカルクリニック
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地5 TEL 0995-73-3356 FAX 0995-62-0120

住宅型有料老人ホーム

- ほりえ
〒892-0824 鹿児島市堀江町6番3号 TEL 099-248-8111 FAX 099-248-8132
- おはな別館
〒899-5431 始良市西餅田202番地3 TEL 0995-65-2040 FAX 0995-65-2048

在宅サービス

- 居宅介護支援事業所 キラメキ
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目16番3号 ユーファーストビルディング 4階
TEL 099-203-0172 FAX 099-203-0173
- 居宅介護支援事業所 めく杜
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地5 TEL 0995-62-0106 FAX 0995-62-0120
- 訪問看護ステーション まむ
〒899-5431 始良市西餅田202番地3 TEL 0995-55-4649 FAX 0995-65-2048
- 訪問看護ステーション まむ鹿児島
〒892-0824 鹿児島市堀江町6番3号 TEL 099-248-8450 FAX 099-248-8640
- 訪問介護ヘルパーステーション 甲東
〒892-0832 鹿児島市新町5番19号405 TEL 099-219-2670 FAX 099-239-3116
- デイサービス 風の街
〒892-0824 鹿児島市堀江町6番3号 TEL 099-248-8112 FAX 099-248-8132
- デイサービス しあわせ通り らぶ
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地5 TEL 0995-62-5950 FAX 0995-62-0120

地域密着型サービス

- キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗
〒890-0051 鹿児島市高麗町22番16 TEL 099-230-7122 FAX 099-230-7136
- 看護小規模多機能型居宅介護 星の街
〒892-0824 鹿児島市堀江町6番3号 TEL 099-248-8136 FAX 099-248-8132
- 看護小規模多機能型居宅介護 お福
〒899-5431 始良市西餅田202番地3 TEL 0995-65-1234 FAX 0995-65-1234
- 看護小規模多機能型居宅介護 とまり木
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地1 TEL 0995-62-5916 FAX 0995-73-3330
- グループホーム 木もれ日
〒899-5231 始良市加治木町反土2156番地5 TEL 0995-62-5915 FAX 0995-62-5916
- グループホーム 花いちもんめ
〒899-5241 始良市加治木町木田4888番地4 TEL 0995-62-2983 FAX 0995-62-2971

社会福祉法人幸友会

- かずみ保育園
〒899-5231 始良市加治木町反土1420番地1 TEL 0995-62-5915 FAX 0995-62-5916

株式会社JOY

- 本社
〒892-0832 鹿児島市新町5-19
TEL 099-227-5535 FAX 099-227-5535
- WellBe Club
〒899-5421 始良市東餅田1181
TEL 0995-65-2020
e-mail : info@wellbeclub.com

法人事務局

- 代表
〒892-0822 鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル 4階
TEL 099-226-8036 FAX 099-226-8874

医療法人 玉昌会 グループ統合報告書2021

<https://www.gyokushoukai.com/>

2022年12月版 法人事務局 総務部総務課